

接触性皮膚炎（かぶれ）

接触性皮膚炎（かぶれ）も、日常よくみられる皮膚疾患の一つですが、原因はさまざまで、代表的な、かぶれの原因は、化粧品、毛染め、ウルシ、ギンナン、洗剤などがよく知られています。消毒液や、ゴム手袋のラテックスもかぶれの原因となることがあります。

アレルギーも種々のタイプがあり、例えば、蕁麻疹の場合は卵を食べて10分ないし15分ぐらいで症状が出現しますが、かぶれの場合は1日ないし2日後に症状が出現します。

具体的には、ウルシかぶれの場合、日曜日に山へ行ったら、その日はどうもなかったが、月曜日あるいは、火曜日になって顔や手が赤く、かゆくなってきます。

蕁麻疹に比べ、症状が出現するまでに時間がかかる理由は、蕁麻疹の場合は肥満細胞というアレルギーに関係する細胞からヒスタミンが放出されて、ホロセができますが、かぶれはリンパ球をはじめとして、複数の細胞が関係していますので、症状が出現するまでに時間がかかるのです。

毛染め、ウルシ、ギンナンのかぶれは、ひどくなりやすく、顔が腫れて目がふさがってしまうぐらいになる方もおられます。

顔が赤く、かゆみがある場合は、前の日に山へ行っていないですか？毛染めを使用しましたか？化粧品を変えていませんか？などの質問をさせていただきますと、そういえば最近、化粧品を変えました。といったような会話が日常の外来でよくおこなわれています。手のかぶれは洗剤が原因であることが多いようです。

かぶれは、アレルギーによるかぶれと、刺激によるかぶれに分類されます。アレルギーによるかぶれは赤みを伴うことが多く、毛染め、ウルシ、ギンナンによるかぶれがその代表例です。刺激によるかぶれはヒリヒリ感や、ひび割れを伴うことが多く、洗剤かぶれによく見られる症状です。

おむつかぶれは、下痢などに伴う、刺激性のかぶれであることが多いようです。

かぶれと思っても、実はカビの皮膚症状であることもありますので、自己判断で放置せず、皮膚科でご相談ください。

（文責：森田秀樹）